

禁煙支援 — 歯医者からのメッセージ —

講演要旨



日本歯科大学生命歯学部 衛生学講座 教授 **福田 雅臣**

喫煙が、がん・脳卒中・心疾患など様々な病気の大きなリスク因子であることは周知の事実です。近年の日本人の喫煙率は男性 27.1%、女性 7.6% で、10 年前に比べ男性が 11.1%、女性では 3.3% 減少し（平成元年国民健康・栄養調査結果より）、男女ともに禁煙志向が進んでいることがわかります。また、健康増進法の改正により、受動喫煙の防止を図るための措置が定められ、学校・病院・児童福祉施設等での敷地内禁煙、事業所・飲食店等での受動喫煙防止対策が取られるようになりました。

健康日本 21（第二次）では、“主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（NCD の予防）” に関するターゲットとする疾患として、がん、循環器疾患、糖尿病、COPD が示されており、これら疾患の共通の予防対策として禁煙があげられています。“歯・口の健康” では、健全な口腔機能を生涯にわたり維持することが謳われ、これを

実現するための歯周病予防の重要性が位置付けられています。喫煙は歯周病の進行・重症化に大きく関わっているリスク因子ですので、歯周病発症予防・重症化予防対策には禁煙が必須であるといえます。すなわち、歯周病発症予防・重症化予防は、NCD 予防のための行動変容と同じカテゴリーで禁煙対策をすすめていくことができます。さらに、歯科治療の特徴として、口腔内の診察で喫煙の有無が確認できること、診療が数回または定期的になるなど、歯科医療機関は継続した禁煙支援を実践する最適の場であるといえます。

今回のフォーラムでは、歯・口の健康、特に歯周病と喫煙との関連性、歯科診療の特性と禁煙支援のかかわりについてお話していきます。そして、歯科医師による禁煙支援に関して、さらなるご理解いただき、かかりつけ歯科医を持つ機会になっていただければ幸いです。

略歴

1982年	日本歯科大学歯学部卒業
1986年	日本歯科大学大学院修了 日本歯科大学歯学部 助手
1991年～1993年	フィンランド トゥルク大学 客員研究員
2014年	日本歯科大学生命歯学部 教授

専門医・指導医・学会活動

- 日本公衆衛生学会 認定専門医
- 日本口腔衛生学会 専門医
- 公益財団法人 8020 推進財団 理事
- 社会歯科学会 常任理事